

プラス要因

マイナス要因

内部環境

強み
Strength

S

弱み
Weakness

W

外部環境

機会
Opportunity

O

脅威
Threat

T

宮代町のSWOT(コト)

行政

- 町民の声が届く
- 顔が見える行政
- 町職員のモチベーションが高く、能力が高い
- 町の規模が小さい
- 予算規模が小さい
- 財政に余裕がない
- 扶助費増加していく
- 町が既成概念にとらわれている
- 職員の人事交流が不足
- 防災・防犯をテーマにコミュニティづくり
- 町職員の潜在能力/専門性を高められる
- 議員のなり手がなくなる
- 人口減少社会における行政の在り方
- 町職員の潜在能力/専門性を高める
- マイナンバーを活用した手続きが普及する
- 4次総合計画からの引き継ぎ、違い明確化

日工大

- 日工大の食堂きれい・一般利用可
- 多くの学生を擁する日工大がある
- 町民のニーズにそった日工大生の活用
- 日工大 外部受講しやすく
- 日工大とロボットが農業、介護、子育て分野で活躍
- 日工大の子ども参加の科学実験体験

健康・医療

- はらっパークにドクターヘリ
- コバトン健康マイレージ
- 健康のために運動できる場があるといい
- 少子高齢化を踏まえた子育て・医療の環境充実
- 高齢化を踏まえた医療の在り方

福祉

- 弱者サービスが足りない
- 介護者の憩いの場

地域資源・特徴・その他

- ナショナルチェーン店が少ない
- 東武動物公園の知名度が高い
- 「宮代」地名に品がある
- 東武鉄道の電車全種類見られる
- 個人店ががんばっている
- SLに乗れる
- 笠原小学校の裸足教育
- 学校で地元のことを勉強している
- 災害が少ない
- 町の長所が生かし切れていない
- 豊かな地域資源を生かしていない
- 自慢できるものが少ない
- 宿泊需要の取り込み
- 活かされていない地域資源
- 笠原小学校の手作り草鞋で修学旅行
- 町の魅力を繋げることで可能性が広がる
- マンデーマルシェ
- 地域資源を専門家とのコラボにより高レベルのコンテンツへ
- マンデーマルシェ
- 地元で過ごす週末
- 技術発展に貢献できるまち
- 駅前開発だけでなく町の魅力必要
- 都会化により個性をなくさない
- 宮代らしさを明確に

住

- 管理された自然と住宅地が繋がっている
- 住環境が良い
- 古民家
- コンビニが近くにない
- 賃貸の空家が多い
- プチ田舎生活
- 空家二拠点居住
- 学園台で独居老人のシェアハウス
- 空家の活用
- 空家対策
- 調整区域に宅地が増えている
- グループホーム、シェアハウス活用の可能性
- 移住ターゲットの明確化

イベント

- コスプレイベント
- イベントが多い
- 町のイベント、取組みが十分に伝わっていない
- 若い人が定期的集まれるワークショップ
- ベビーカーの集まる集会
- 日工大と子どものコラボ授業
- 体育祭、文化祭などのイベントが成り立たなくなる
- イベントをいかに日常化するか

情報

- 広報に町民が参加できる企画がたくさん掲載されてる
- 町のイベント、取組みが十分に伝わっていない
- 知名度低い
- 情報発信力が足りない
- 「みやしろで暮らそっ」の多面的な活用
- イベント情報発信を町任せでなく町民全体で
- 町公認「#ハッシュタグ」の活用
- 情報発信に工夫(ハッシュタグ、FM放送など)
- Youtuberの活用
- 地域共生社会の住民全体の認識向上
- 若い人に広報を読んでもらう

農

- 野菜の無人販売所がある
- 地場産品手軽に購入できる
- フルーツの町
- 農地が豊富
- 新しい村の稲作講座
- 耕作に不便な農地多い
- 農業の担い手高齢化、減少
- 農的環境が多い
- 共有畑
- 地元野菜を流通
- 貸農園で作った作物の流通
- 自主栽培の野菜を食べる会
- 農家が新米や巨峰を直売
- 玄米
- 週末家庭菜園レンタル 東京の人向け
- 農業の後継者
- 外国人を含め農業体験

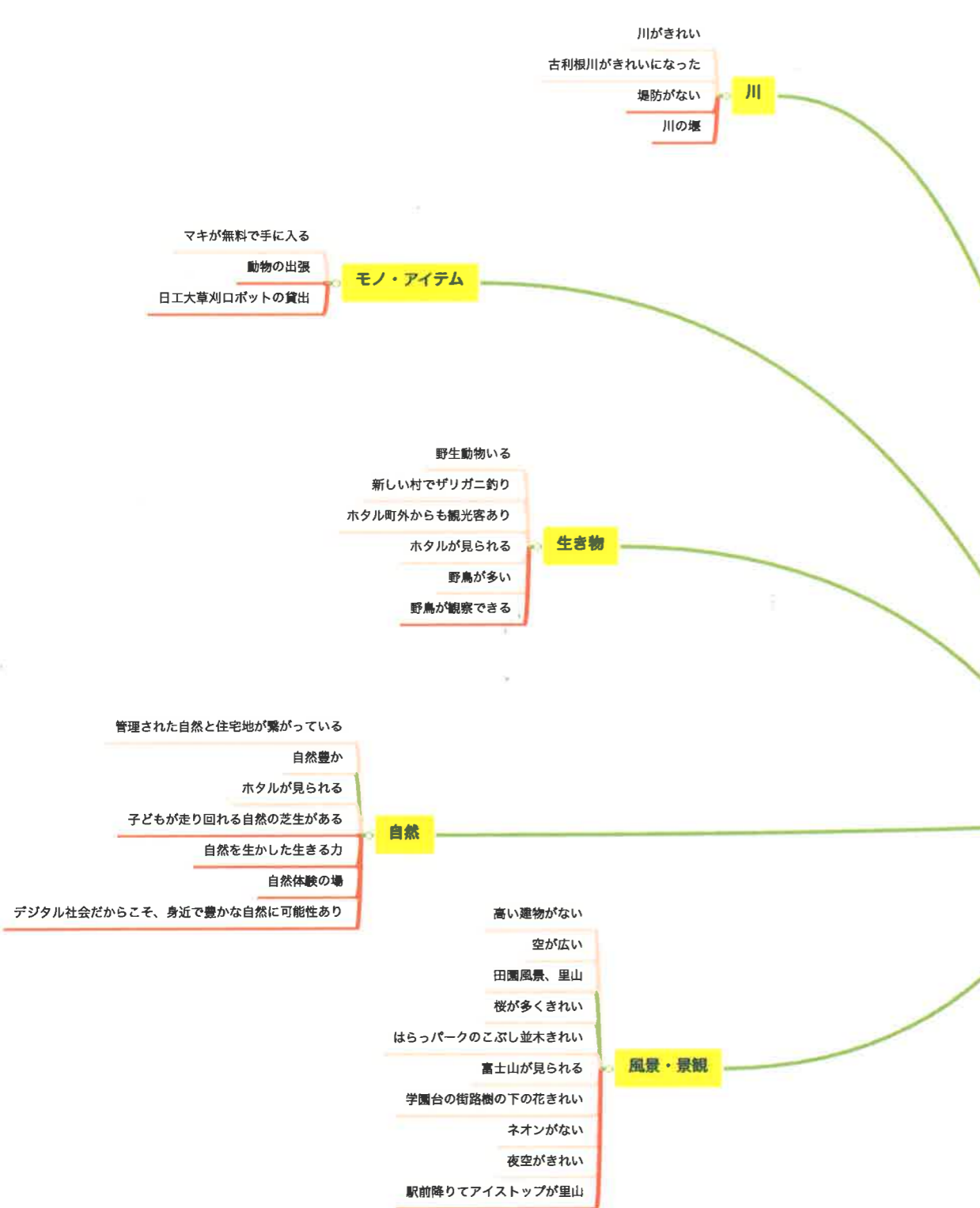
職・起業

- 若手企業者がまだ少なく、競争が激しくない
- ビジネスの商圏が狭い
- 企業が少ない
- ビジネス環境が貧弱
- 若手企業者がまだ少ない
- 起業したい
- スモールビジネスの事業環境が整えやすい
- 駅周辺エリアへの新規参入がしやすい
- インターンシップによる人材交流(企業、社会福祉法人)
- 障がい者雇用
- インターンシップによる人材交流(役場)
- 現役時代の経験を活かした人材バンク
- 若い人のニュービジネス、小商いを支援
- 若手企業者が参入しやすい
- 若手自営業者が集まる資源がある
- 最近若い人が店を出している
- クリエイティブな人材をいかに呼び寄せるか
- 若手企業者の発掘・育成
- 日工大生の町内就職
- 学生さんがバイトするところない
- シニア起業の可能性
- シルバー人材センターの再編
- 町民の銭 町内でつかうように
- 町内でお金を落とせる環境
- 企業誘致

飲食

- 美味しいパン屋さんが多い
- 学校給食で世界の料理
- 安くいっぱい食べられる店ある
- 進修館で飲み会できる
- 東口においしい居酒屋
- 宮代台の魚屋
- 木に囲まれてBBQ
- そば打ちができる
- 給食がおいしい
- 子ども食堂+お年寄り食堂
- 集会所で子ども食堂
- 子ども食堂改め宮代食堂(みんなおいで)
- 地元野菜を流通
- 貸農園で作った作物の流通
- 自主栽培の野菜を食べる会
- 農家が新米や巨峰を直売
- 玄米
- 町の食べ物屋さん情報が足りない

宮代町のSWOT (モノ)



宮代町のSWOT(ヒト)

高齢者

- 老々世帯、独居世帯が増加
- 高齢者の得意分野を活かす+体を動かす場所
- カルチャーセンター 高齢者の得意分野を活かす
- アスレチック(高齢者の体を鍛えられる)
- 高齢者が地域で活躍できる場
- 学園台で独居老人のシェアハウス
- 介護者の憩いの場
- 高齢者になっても働ける町
- シニア起業の可能性
- 今後、元気な高齢者が増える
- シルバー人材センターの再編
- 高齢化が進行しコミュニティが衰退
- 地域を支える人材の高齢化
- 高齢化の地域差
- 少子高齢化を踏まえた子育て・医療の環境充実
- 高齢化を踏まえた医療の在り方

交流

- 住民同士の関係良好
- 同級生のつながり強い
- 世代を超えたつながりある
- 地域敬老会
- 新しい村の村弁、町コン
- 交流の場充実(新しい村、進修館など)
- 行政と町民の協力的な雰囲気がある
- 町長が話しやすい
- 行政と町民の関係良好
- 地域交流サロン
- 陽だまりサロン
- 自治会活動では若者との交流少ない
- 町民の集まれる場所が少ない
- 集会所の利用方法に工夫を
- 若い人が集まる場所、コミュニティ
- 海外から来た人と交流できる場所
- 防災・防犯をテーマにコミュニティづくり
- 技術をもった大人と子どものふれあい
- コミュニケーションがとりやすい町であること
- 若い人達とふれあう場所があったらいいな

活動・連携

- 自主防災組織
- 地域活動盛ん
- 東武鉄道(大企業)との接点
- ボランティアが盛ん
- 学生がお店づくりに協力
- ボランティアによる通学路の見守り
- 日工大との連携足りない
- 義務感だけでは活動が続かない
- 子どもの居場所づくりを定年後やりたい
- シルバー参加の子育て
- 宮代高校との連携した地域活動
- 近隣自治体との連携しやすい要素(きっかけ)が少ない
- 企業や大学との連携
- 沿線エリア間の連携
- まちづくりに積極的な市民多い
- 定年後に手伝えることができるとうれしい
- 通院・買い物の支援がしたい
- 都内の団体、自治体との連携
- 町の枠を外し広い視野で町外のコンテンツを取込・連携
- 町民と、企業・団体、行政の役割分担
- 誰でも子育てを支援してもらえ、支援できる環境
- 和戸横町工業団地の従業員の取り込み
- 沿線連携
- 企業や大学との連携をより積極的に進める

子ども

- 子どもが素直
- 子育て環境良い
- 子育て支援センターが良い
- ベビーカーの集まる集會
- 子どもも入れるような飲食店
- こどもが宝
- こどもが挨拶できる
- 技術をもった大人と子どものふれあい
- 子ども食堂+お年寄り食堂
- 集会所で子ども食堂
- 子ども食堂改め宮代食堂(みんなおいで)
- 誰でも子育てを支援してもらえ、支援できる環境

人

- 子育て世代の住民がそれなりにいる
- 宮代愛がある町民がいる
- こころにうおいがあ
- 町のことを好きな人が多い
- 他者にやさしい町民
- おもいやりのある町民が多い
- 転入者にやさしいまち
- 主体的な町民いる
- 地元に残る人多い
- 町に協力的なシニア層が既にいる
- 公園を掃除するおじさんがいる
- ルールを守れない町民もいる
- 町に関わりたい人多い
- 児童館⇒大学生の活用
- 女性の力
- 宮代高校の学生(アーチェリー部、料理研究部、放送部)
- 美意識高い町民
- トウブコ駅周辺の住民増加
- 区画整理地内の新住民
- クリエイティブ市民を惹きつける要素が比較的多い
- 町の魅力を知らない人多い
- 地域資源の高レベルのコンテンツ化で人材獲得
- 住宅団地の世代交代
- 子ども、高齢者だけでなく主婦も活用